

社内の基幹システムとして Dropbox Business を利用し、すべての情報をすっきり一元管理

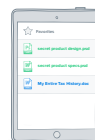
Dropbox 導入の主な効果



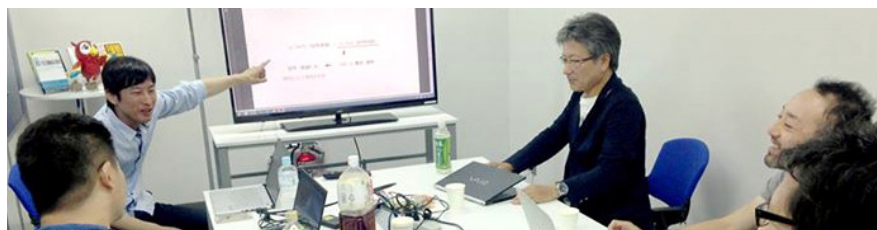
いつでもどこでも場所と時間を選ばず仕事ができる自由なワークスタイルを実現



社内の全情報を管理できるので、コストもコラボレーションも効率化



IT管理者のいない会社でもすぐに不安なく使えて便利



「API のエバンジェリストとしてサービス当初から個人的に Dropbox を利用してきました。今ではすべての文書を Dropbox Business で一元管理しています。Dropbox Business にいけばすべてがそこにある。」



代表取締役 CEO 杉原 剛氏

抱えていた課題

IT担当者を置く余裕がない中での環境整備

アタラ合同会社は、デジタルマーケティングのための最先端テクノロジーを駆使したシステム開発や、ネット広告関連における各種マーケティングのコンサルティングに特化した会社です。さまざまな企業におけるマーケティングの課題を解決するため、各分野のエキスパートたちが日夜尽力しています。

アタラ社内ではこれまでもDropboxを使用していました。多くの中小企業と同様に、社内にIT担当を置く余裕のなかった会社にとって、Dropboxは情報管理ツールとして大きな役割を果たしていました。しかし、2009年の創業から徐々に組織が大きくなっていくにつれ、情報共有環境やデバイスの管理などの負荷が少しずつ増えていきました。

「以前は、各自がDropboxの個人アカウントを利用し、私がすべてクレジットカード決済をしていました。でも、人が増えてきて管理しきれなくなってきたんです。コストもいくらかかっているのか把握しづらかったですね。」と代表取締役 CEO の杉原剛氏は振り返ります。

また、アタラでは社員一人ひとりの業務内容が全く違います。社員同士のような仕事をしているかわかりづらい面があり、情報共有の方法について社内でも課題があると感じていました。情報を一元的に管理し、全員がアクセスできるようにしたいと考えている中で、同社ではDropboxのビジネス向けのサービスである、Dropbox Businessを採用することにしました。

ソリューション

すべての情報を Dropbox Business に

Dropbox Business を導入したアタラでは、すべての情報をDropboxに格納するようになりました。たとえば、一人ひとりの業務がそれぞれ違う中でもうまく情報を共有できるよう、同社では「アタラ道場」という勉強会を毎週開いています。そこでは、それぞれが得た知識や経験したことを自由に発表するので、多くの情報を共有します。社員が積み上げたノウハウや情報を、Dropbox Business に保存することで、必要な情報をすぐに見つけられるようになっただけでなく、新たに入社する社員にも共有できるようになりました。

また、バックアップとしても Dropbox Business は大きな役割を担っています。「バックアップを取ることは忘れがちになりますが、Dropbox Business は使い方も簡単なので社内では必ずバックアップを取る手段として使うようにしています。とにかくDropbox Business で一元管理しています」と杉原氏は語ります。

さらにアタラでは、クライアントとのファイル共有でも積極的に Dropbox Business を使用しています。共同作業が必要な場合、今までであればメールで資料を送り、編集されて送り返されるのを待つ、ということを行っていました。しかし今ではすぐに相手と資料を共有でき、さらには共同で編集作業も行えるので、やり取りの時間を大幅に短縮することができました。「社外の方にも Dropbox Business を使うようオススメしています。Dropbox Business さえあれば IT 担当は必要ありません。」(杉原氏)

結果

ミッションクリアに欠かせない基幹システム

Dropbox Business を使うことで、アタラでは IT 担当を採用することなく、業務をスムーズに行うことができます。バックアップとしての役割や、その他豊富な機能を考えると全社的に2,000万円ほどのコスト削減効果を得られました。具体的には、今まで使用していた Dropbox Pro ではアカウントごとに個別の請求を処理する必要がありました。しかし Dropbox Business ではメンバーが増えても一括で請求できるので、ビジネスを拡大する中では重要なポイントでした。

また、いつでもどこでも仕事ができるようになったという点も大きなメリットでした。同じオフィスにいなくてもコラボレーションができるようになったため、働き方の自由度が増しただけでなく、業務が中断されてしまうことがなくなり、社員にとっても会社にとっても良い効果をもたらしています。今後もアタラは Dropbox Business とともに、さらなる成長が期待されます。

活用事例

Dropbox Business の主な3つの効果

ファイル共有	社内すべての文書を Dropbox Business で一元管理しています。バックアップおよび情報共有も行っています。
セキュリティ強化	部署ごとに権限付与は厳密に管理しています。ユーザーの追加や退職した社員の権限削除もタイムリーに行うことができます。
モバイルワーク	Dropbox Business によるファイルの一元化により、どこからでも仕事ができるリモートワーク環境を推進できています。担当分野の異なる社員同士での情報共有という役割も担っています。

「Dropbox Business は当社の基幹システムです。もし Dropbox Business がなかったら、我々のミッションをクリアできません。自由なワークスタイルやコラボレーションを実現するのも、Dropbox なしにはあり得ません。」



代表取締役 CEO 杉原 剛氏

